

おくのほそ道 芭蕉・蕪村・一茶名句集



[おくのほそ道 芭蕉・蕪村・一茶名句集 下载链接1](#)

著者:松尾芭蕉

出版者:小学館

出版时间:2008/06

装帧:

isbn:9784093621908

三大俳人、芭蕉・蕪村・一茶の名句の数々

江戸三大俳人、芭蕉・蕪村・一茶の名句と、芭蕉の傑作紀行文『おくのほそ道』を収録。「夏草や兵どもが夢の跡」「菜の花や月は東に日は西に」「瘦蛙まけるな一茶是に有」――いつ読んでも新しい名句が、わかりやすい訳と解説で味わえる。

作者介绍:

松尾 芭蕉（まつお ばしょう、寛永21年（1644年） - 元禄7年10月12日（1694年11月28日））は現在の三重県伊賀市出身の江戸時代前期の俳諧師である。幼名は金作。通称は藤七郎、忠右衛門、甚七郎。名は宗房。俳号としては初め実名宗房を、次いで桃青、芭蕉（はせを）と改めた。蕉風と呼ばれる芸術性の高い句風を確立し、俳聖と呼ばれる。

与謝 蕪村（よさ ぶそん、よさの ぶそん、享保元年（1716年） - 天明3年12月25日（1784年1月17日））は、江戸時代中期の日本の俳人、画家。本姓は谷口、あるいは谷。「蕪村」は号で、名は信章通称寅。「蕪村」とは中国の詩人陶淵明の詩「帰去来辞」に由来すると考えられている。俳号は蕪村以外では「宰鳥」、「夜半亭（二世）」があり、画号は「春星」、「謝寅（しゃいん）」など複数の名前を持っている。

小林 一茶（こばやし いっさ、宝暦13年5月5日（1763年6月15日） - 文政10年11月19日（1828年1月5日））は、江戸時代を代表する俳諧師の一人。本名を小林弥太郎。

目录:

[おくのほそ道 芭蕉・蕪村・一茶名句集_ダウンロード1](#)

标签

日本文学

日本

诗歌

诗

松尾芭蕉

日本文学

原版书

路在脚下--

评论

与谢芜村

主要看了芭蕉和蕪村

补标。这本的编撰和解说都很好。看得有些仓促，有机会要留一本慢慢回顾。

好

[おくのほそ道 芭蕉・蕪村・一茶名句集 下载链接1](#)

书评

[おくのほそ道 芭蕉・蕪村・一茶名句集 下载链接1](#)